

◆地方自治制度と都区制度について

国・都への区長会としての対応は。

基礎的自治体優先の原則に立ち、全国市長会と連携

◆外部からの人材活用について

警察・自衛隊OB等の活用と法曹資格者を管理監督職として育成を。

◆区内事業者の育成について

区内事業者の育成策の検討状況は。区内事業者の受注機会の拡大を。少額の契約における区内事業者の受注拡大と具体的・効果的な支援策を。

◆総務

①専門組織設け年度内目途に課題検討。②評価基準で区内事業者を評価に反映。③発注方法の工夫等、優先発注

◆新年度予算編成について

新年度予算編成に対する決意は。国予算が越年編成になる影響は。持続可能な財政運営は。区民要望を反映する予算の編成は。

◆区長

①選択と集中のさらなる徹底。②国、都の動向注視し、適確な予算編成に努める。③全事務事業の見直しの成果を反映。④可能な限り努める。

◆地域医療計画について

区西部地域に200床規模の新病院整備は。整備に関する経費確保は。同一医療圏内から区内誘致は。放射線7号線沿線へ新病院誘致を。既存病院の病床の拡充は。

◆区長

①手法を検討し早期整備に目途。②必要な予算措置を講じる。③引き続き検討。④区西部地域へ積極的に取り組む。⑤順天堂練馬病院の増床。

◆健康診査の推進について

注を更に進める方策を検討中。

◆障害者スポーツの振興について

スポーツ基本法の精神・理念の区としての捉え方は。障害者スポーツの普及・啓発の取り組みを。障害者ス

◆区長

①氏名公表を盛込んだ条例改正案を今定例会に提出。②適切な支援方法

◆障害者スポーツへの積極的な取り組みを

練馬区議会自由民主党 小林 みつぐ

ポーツ指導員の人材の確保を。障害者スポーツに積極的な取り組みを。

◆区長

①法整備を高く評価。②努める。③資格取得に取り組み。④資格取得に努め、有資格者は都障害者スポーツ協会の協力を得て獲得。④障害者の参加機会充実に努める。

◆リサイクルについて

受診率を向上させるため、年齢別案内状を。健診の休日夜間実施を。医療機関に託児所等設置し子育て世代に安心な受診環境を。社会保険加入者への受診勧奨を。

◆健康福祉

①わかりやすい案内状作成に努め、研究。②関係機関と協議。③医師会と協議。④勧奨方法などを検討。

◆地域密着型サービスについて

24時間対応の訪問サービス定着に向け人材確保と研修は。自宅暮らしを体制整備を。特定福祉用具を受領委任払いで購入し活用を。

◆健康福祉

①事業者への指導

古紙持ち去り行為防止の徹底を。集団回収事業の実施団体等に報奨金のアップと区内事業者の活用を。

◆区長

①氏名公表を盛込んだ条例改正案を今定例会に提出。②適切な支援方法

◆環境まち

◆バス交通網の整備について

中村南・豊玉南地域のバス交通の整備を。コミュニティバスの新規導入を。

◆区長

①早期運行に向け、バス事業者と連携。②課題解決の調整と新たな対応策を検討。

◆練馬駅周辺地区のまちづくり

と支援に努め、研修を充実。②適切な事業者選定とサービス周知に努める。③取り組む

◆区立施設の改修策について

旭町・田柄第二保育園の仮設園舎用地の確保は。学校体育館の非構造部材の早

◆健康福祉

◆新病院を誘致し住みやすいねりまの実現を

練馬区議会公明党 内田 ひろのり

内状作成に努め、研究。②関係機関と協議。③医師会と協議。④勧奨方法などを検討。

◆教育

①精神的に取り組む。②今年度15校。早期に全校点検し対策を図る。③着実に解消し法令順守に努める。

駅南口と千川通りの一体的整備状況と今後の取り組みを。北口有地事業へはブランド名の高い事業者の参入を。

◆区長

①大半の整備終了。残された部分は都へ働きかける。まちづくり憲章策定に取り組む。②求心力を与えるテナント誘致できるよう協議。

◆区内施設の建築安全対応について

区立施設の仮設建築物の仮設許可切れの施設は早期に解体を。

◆健康福祉

仮設建築物は着実に解消し、法令順守に努める。

◆行政改革について

基本的な考え方を。効率性と質の向上を追求。迅速、果敢に改革を進める。

◆委託化・民営化について

平成27年度以降の取り組みは。優良な事業者が応募できる条件提示を。

◆企画

①新たな計画化に取り組む。②方策を検討する。③としまえんの活用について

◆区長

①新たな計画化に取り組む。②方策を検討する。③としまえんの活用について

◆区長

①新たな計画化に取り組む。②方策を検討する。③としまえんの活用について

◆被災地復興支援について

運営を区内の産業経済団体に任せるべき。「練馬産業まつり」を開催されたい。

◆区長

①区内関係団体の意見を聞き、検討を進める。②実施の可否や方法を検討。③防災訓練について

◆防災訓練について

◆産業まつりを実現し、地域産業の活性化を！

練馬区議会自由民主党 しばざき 幹男

区は動員への協力を。中学校で防災訓練の実施を。

◆危険管理

①訓練参加者の増加に向けた支援に努める。②全中学校に働きかける。

◆区内事業者の育成と活用について

優先発注基準の特例措置を自動継続へ。管理業務へも総合評価入札の導入を。

◆健康福祉

ヘルプカードとヘルプマークの推進を。普及状況を踏まえ、取り組む。ヘルプマークは一層の周知を図る。

◆若者の就労支援について

区内高校・大学と産業団体とのインターンシップ実現を。商店街就職支援事業の実施を。地域若者サポートステーション事業の実現を。

◆区長

①検討。②神戸市の事業参考に、区の施策に生かす。③春日町青少年館で開設予定

◆街づくり

総合評価の採点内容に、本店が区内か区外かで区別を。

◆総務

①優先発注の継続は必要。基準のあり方を検討。②建築工事等にも導入する。③評価に反映させる方策を検討。

◆防災訓練について

◆新学習指導要領への対応について

◆健康福祉

①指導要領の趣旨に沿った授業が実施されている。

◆教育

①指導要領の趣旨に沿った授業が実施されている。

◆危険管理

①訓練参加者の増加に向けた支援に努める。②全中学校に働きかける。

◆区内事業者の育成と活用について

優先発注基準の特例措置を自動継続へ。管理業務へも総合評価入札の導入を。

◆健康福祉

ヘルプカードとヘルプマークの推進を。普及状況を踏まえ、取り組む。ヘルプマークは一層の周知を図る。

◆若者の就労支援について

区内高校・大学と産業団体とのインターンシップ実現を。商店街就職支援事業の実施を。地域若者サポートステーション事業の実現を。

◆区長

安全教室の成果と参加者増の対策を。区独自の自転車免許証の発行等、対策を。

◆環境まち

①安全走行の自覚を促すことができた。学校と地域が一体化した教室を検討。②運転者の責任感を醸成する効果的な取り組みを検討する。

◆新学習指導要領への対応について

◆健康福祉

①指導要領の趣旨に沿った授業が実施されている。

◆教育

①指導要領の趣旨に沿った授業が実施されている。

◆危険管理

①訓練参加者の増加に向けた支援に努める。②全中学校に働きかける。

◆区内事業者の育成と活用について

優先発注基準の特例措置を自動継続へ。管理業務へも総合評価入札の導入を。

◆健康福祉

ヘルプカードとヘルプマークの推進を。普及状況を踏まえ、取り組む。ヘルプマークは一層の周知を図る。

◆若者の就労支援について

区内高校・大学と産業団体とのインターンシップ実現を。商店街就職支援事業の実施を。地域若者サポートステーション事業の実現を。

◆区長

①検討。②神戸市の事業参考に、区の施策に生かす。③春日町青少年館で開設予定

放課後子どもプランの検討状況は。学校応援団のアン

◆健康福祉

放課後子どもプランの検討状況は。学校応援団のアン

◆健康福祉

放課後子どもプランの検討状況は。学校応援団のアン

◆健康福祉

放課後子どもプランの検討状況は。学校応援団のアン

◆健康福祉

放課後子どもプランの検討状況は。学校応援団のアン

◆健康福祉

放課後子どもプランの検討状況は。学校応援団のアン

◆健康福祉

放課後子どもプランの検討状況は。学校応援団のアン

◆健康福祉

放課後子どもプランの検討状況は。学校応援団のアン

◆健康福祉

放課後子どもプランの検討状況は。学校応援団のアン

◆健康福祉



※「プライマリーケア」については「予防医学」の意。

◆住みたい町・練馬へ

①外環道について、前回、一般質問してから今日に至るまでの取り組みは。②開通目標までに区が関わる具体的な事業・費用の予測は。③区が目指す都市基盤整備の全体像への理解をさらに促すための

④区民参加型のイベント等を展開せよ。④としまえんの都立防災公園化について、昨年度の区の検討状況が都に意見・要望として伝わっているのか。⑤区とはしまえん側と都との間に調整等よりコミットせよ。⑥区の魅力を支える上石神井駅・武蔵関駅間の基盤整備の方向性をよりクリアに。⑦自転車シェアリングの充実を。また貸出拠点以外で返却ができるシステムの検討を。

①着工式の開催、(仮)東名JCTの立坑建設工事の契約締結。用地取得の進捗とともに着工に向けた検討が進められている。②費用負担なし。国や都に早期延伸を働きかける。③適時適切な方法で情報提供等に努める。④企画。④検討を重ね、区の考え方をまとめる。⑤事業化の際に、対応策を検討せよ。②練馬光が丘病院について、医師の確保や救急受け入れの問題等、現状における課題は。③クールに意見を出し合える場が必要では。関連する協議会などの人選について区の見解は。

ねりま・みんな・みらい 次世代の練馬へ

練馬区議会みんなの党 しもだ 玲

にぎわい創出の整備を働きかける。⑥まちづくり協議会の提言を踏まえさらに区民の信頼と医師等の確保。③基本協定書に基づき協議会を設置。構成員のうち、区民委員は公募と聞いている。 ◆次世代の教育について ①子ども発達支援センターの進捗状況は。②同センターに関する情報発信の改善を。 ◆危険管理 ①今年度中に策定。②訓練等で重要性訴え。区民の関心が高まってきていると認識。③組織の実情に応じた活動ができるよう働きかける。 ◆環境まち ④より具体的・現

大江戸線の早期延伸に向けた取り組みを!

練馬区議会民主党 無所属クラブ 土屋 ひとし

◆大江戸線の早期延伸 ①最大の課題である採算性の向上に向けた対策は。②採算性の議論は、新座市方面への延伸、地下構造物のコストなど事業全体を踏まえるべき。③導入空間の整備、交通結節機能の確保、イベント・媒体を利用した啓発等、区独自の積極的な取り組みを。 ◆区長 ①利用者増につながる新駅周辺のまちづくりや大江戸線延伸推進基金の設置。②都がハードソフト両面から検討。③引き続き積極的に取り組む ◆地域防災等について ①都の新たな地域防災計画決定を受け、区の計画の見直しは。②防災意識の高まりを踏まえた「自助」「共助」への啓発とその成果は。③区民防災組織の活動状況を把握し、役割の明確化を。④首都直下地震を想定した廃棄物処

③進む高度情報化社会に向け、将来的なビジョンを検討せよ。④未来志向のICT教育を積極的に推進せよ。また、区役所、区議会においてもICT技術を活用したスリムで効率のいい業務を目指すよう要望する。 ◆福祉 ①準備の最終段階。②積極的に周知する。 ◆教育長 ③平成22年に学校配備システムの最適化計画を策定し情報教育の目指すべき方向を明らかにした。④教員研修等を通じて、ICTの効果を十分発揮できるよう情報教育の充実に取り組む。



◆行政改革について ①行政改革効果での財源は予算編成へ反映を。②財調交付金の更なる獲得を。③更なる区政改革への取り組みとして、職員数削減の更なる努力を。④職員のモチベーションの高揚策を。 ◆区長 ①区政の懸案課題に重点配分し、区民福祉向上。②財調協議で強く主張。③特別区の動向踏まえ適正化に取り組む。④組織を挙げ取り組む ◆小中学校の適正配置について ①学校適正配置第一次実施計画の検証結果は。②東部地域に早急に第二次実施計画

「練馬区スポーツ都市宣言」を!

練馬区議会自由民主党 田中 ひでかつ

②検討し、策定。③連携指導による豊かな人間性や社会性の育成等を目指す。④検討。 ◆高齢者施策について ①更なる見守り体制の充実強化策を。②見守り相談所事業を4か所整備することへの区の評価は。③見守り相談所は、開設の条件が整った地域から可能な限り早期に整備

を策定し、適正配置を。③小中一貫教育の基本方針を。④統合に合わせた新たな小中一貫校の創設を。 ◆教育長 ①円滑な学校運営が行われており、学校教育上の効果が十分に発揮されている。 ◆都市農業の振興について

を。また、設置場所の選定は。①重層的な見守り体制を実現。②住民同士の交流が深まり、早期の異常発見が期待できる。③検討。大規模団地への早期設置を検討。 ◆都市農業の振興について

◆スポーツ振興策について ①「総合運動場」や「総合体育館」の整備を待つことなく、既存のスポーツ施設をこれまで以上に生かしたスポーツ振興策を。②第5番目の宣言となる「練馬区スポーツ都市宣言」を7万練馬区民に宣言し、スポーツ振興の大きな柱に。 ◆区民生活 ①指定管理者の間ノウハウを最大限に引き出し、既存施設のより一層の有効活用を努める。②区のスポーツ振興の契機となる出来事に併せて行うこと等が望ましいため、これを念頭に検討。

行政決定押しつけやめ、区民主体の区政に!

練馬区議会護憲連合 松村 良一

◆原発とエネルギー問題 ①7万区民の命と健康を守る立場から、原発容認やめ、原発ゼロを求めよ。②地域経済への波及効果も大きい再生可能エネルギーの大規模活用と低エネルギー社会実現を。 ◆環境 ①中長期的には原発依存度を減らすべしだが、当面安全性確保のうえ維持も必要。②大規模活用は考えていないが、着実に利用拡大に努める。 ◆首都直下地震等について ①区民に自己責任だけ押しつける「自助・共助・公助」論やめ、予防・減災の公的責任を果たせ。②耐震化促進と

◆大型開発優先やめよ ①大型開発の根拠崩壊したもて、何を根拠に開発進めるのか。②区民生活防衛、みどり豊かな地域環境に全力を。③外環道整備優先の独断専行区政に、住民主体のまちづくりを求める区民と、抜き差しならない矛盾。整備の是非に立ち戻った住民との合意形成図れ。④都市農業を守るため、宅地並み課税、相続税など税制制度の転換、都市農業振興自治体としての農政の確立、住民と共同した運動図れ。 ◆技監 ①長期計画に位置付け、住民参加で計画を策定し事業を進めてきた。②総合的・体系的にまちづくりに取り組む。③国や都は、合意形成に向け、た取り組みと手続きを経て事業化。区は引き続き適切な対応求める。 ◆産業経済 ④国に制度改正を強く訴えてきた。

◆新自由主義から、暮らしを